

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	高知県第3970100271
法人名	社会福祉法人 長い坂の会
事業所名	グループホーム ほのぼのの家
訪問調査日	平成 19 年 11 月 21 日
評価確定日	平成 20 年 5 月 19 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

作成日 2008年2月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	高知県第3970100271号		
法人名	社会福祉法人長い坂の家		
事業所名	グループホームほのぼの家		
所在地 (電話番号)	高知市朝倉丙1633-17	(電話)088-840-4711	

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年11月21日	評価確定日	平成20年5月19日

## 【情報提供票より】(平成19年11月2日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 9 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人 人
職員数	7 人	常勤 6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	6.5 人

## (2)建物概要

建物形態	併設/ <del>単独</del>	<u>新築</u> 改築
建物構造	鉄骨造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	有( 円)	<u>無</u>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 1000 円		

## (4)利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9 名	男性 名	女性 9 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 86.4 歳	最低 77 歳	最高 93 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人仁泉会 朝倉病院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高知県で最も早く開設された事業所で、1ユニットのゆったりとした取り組みをしている。利用者の作品がたくさん飾られ、取り組みの質の高さを感じられる。日々の散歩コースに畑を作り、また、たくさんの干し柿を吊し、その手入れを利用者とともに楽しんでいる。食事作りや片付けなどは日常生活の一環として定着しており、自然な流れのなかで暮らしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 職員体制や設備等、即応できるものから速やかに改善できている。家族や地域からの相談に応じ対応する体制づくりや、地域住民との交流には日頃から取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者と職員がともに自己評価に取り組み、共有している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及び取り組み状況(関連項目) 運営推進委員会ではホームの取り組みや活動を報告するだけでなく、家族や地域の方の意見を聞き、サービスに取り入れることを心がけている。記録も詳細に整備されている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 入所時の家族の不安を解消するため、特に傾聴を心がけ、その人らしく暮らせるために意見や希望を引き出すことを大切にしている。また、家族の要望を大切にし、職員と検討しサービスの提供に活かすことに努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域とともに暮らすことを大切にしており、自治会にも加入し、納涼祭に参加するなど地域の行事を大切にしている。また、年2回の地域清掃にも参加しており、地域に溶け込んでいる。今後防災などにも取り組み、地域との連携をさらに深めることを期待する。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 地域の中でその人らしい生活ができるようにホーム独自の理念を作っている。  <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容で地域に開かれたホームづくりを目指し、地域の一人としての役割を担っていくことを掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員会、ミーティングなどで繰り返し話し合っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員は常に理念を心がけて日常業務に取り組んでおり、利用者の主体性を大切にすることを心がけている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一人として、町会、自治会等に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域で行われる行事にも招かれ、積極的に参加し交流を深めている。年2回の地域清掃に参加するほか、地域の防災訓練や納涼祭等にも参加している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 管理者と職員がともに改善点を話し合い、サービスの向上に向けて取り組んでいる。  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 要改善点は1つ(地域との交流)で、改善計画シートを作り取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 ホームの報告だけでなく、地域の人の意見や家族の声を取り上げサービスに活かしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいて評価について報告し、地域関係者や家族の意見を聞き、改善に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  相談や指導を仰いでいるが、十分な交流とは言えない。	○	研修講師や行事に招くなど、日常的に交流するための企画の検討を期待する。
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の意見や希望を引き出すため、来訪時の家族への声かけやホームでの生活を伝え話し合うことを大切にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。  <input type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 家族との連携はできているが、連絡において十分でない場面がある。  <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭出納簿を家族に明示し、領収書のコピーとともに送付している。	○	家族とは連携できているが、日常生活の中で事故や怪我に至らない転倒等の事例であっても、大切な命を預かっているという自覚のもと、家族への連絡を心がけたい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 定期的ではないが、家族の意見や要望を聞き、職員会で検討する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情や意見は職員会議で検討し、職員が問題点を共有し解決する仕組みがある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>職員交替には1カ月の引継ぎ期間を確保し、利用者と家族に配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>2カ月に1回は法人全体で研修を行い、パート職員も含め全員が参加できる。外部研修にも積極的に参加させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>職員研修等を中心に情報交換できる場を設け、かつ法人内施設間でも研修結果を共有している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>県内宅老所・グループホーム連絡会に加入し、職員は研修等に参加し、サービスの質向上につなげている。</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>他ホームからの実習引き受けなどの交流は行っているが、職員のさらなる資質向上やサービスの質向上を目的とした積極的な交流が求められる。</p>		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>入居に際し、家族関係、病歴や生活歴について把握に努めている。また、本人の趣味や希望もききとり、出来ること出来ないことを見極めて介護計画に活かしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>見学のほか、希望に応じて昼食や入浴にも対応できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p> <p>面接は必ず管理者と職員で対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。利用者職員が共に過ごす時間を大切にし、食事準備や片付けも共に行うなど、利用者が役割の中心になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者、職員ともに自然に協働できている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>家族には訪問時や電話等で意向を聞き、利用者一人ひとりの暮らしぶりから把握できている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族には訪問時や電話等で情報収集し、また、本人の表情や日々の行動からの把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>利用者や家族から収集した意見や要望を取り入れ、具体的な介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>月に2回、職員会議において全員で支援に対する意見交換や検討を行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている状態に変化が生じた場合は、本人や家族だけでなく、関係者からも聞き取りを行い、その都度介護計画を変更している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>状態変化に臨機応変に対応し、個別に検討し見直ししている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 母体法人の医療体制が整っており、身体状況の変化に応じて対処ができ、生活の継続ができている。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 母体法人の医療支援を受けながら、末期まで介護を提供した例もある。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 職員が通院を支援しており、家族と電車に乗るなどして外泊もしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができている。 かかりつけ医を優先しており、本人や家族の希望に対応している。希望がないときは協力病院の診察を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 本人や家族の希望を優先している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができている。 変化のあった場合は家族に連絡し、職員には申し送りに書き、ミーティングで伝えられている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行って、終末ケアには対応していないが、母体法人の医療体制があるので、協力病院との連携の中で対応している。 <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 法人内で役割分担しており、終末ケアには対応していない。	○	できるだけ早い段階から家族の意向を聞き、終末ケアに対しての希望を知り、安心と安全を確保し、納得のいく最後を迎えられるようなチームづくりを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 個々のプライバシーに配慮し、ことに言葉かけに気をつけている。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。 家族の訪問時に他の家族の話などをしてないように心がけており、プライバシーについては職員会議でも取り上げている。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 月に一回の勉強会において個人情報の取り扱いを学習している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 一人ひとりの能力を把握しており、散歩も線路沿いのコースを決めているが、距離で対応している。畑や花の場所など興味を持たず支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 利用者に関心を持たずことを大切にしており、干し柿作りや干し大根作りをしたり、共同でふくろうを作っていたり、共に製作する姿勢が定着していた。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 昼食を利用者が主体になってグループごとに作るなど、どの利用者もいきいきとし、職員は手助けに回っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員は全員、利用者とともに食べ、楽しい雰囲気でも話も弾んでいる。後片づけや食器洗いも多くの利用者が参加している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 夕方(3時すぎ)の希望が多く、毎日や2日に一度など、無理強いせず利用者ニーズに対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 声掛けや誘い方の工夫、同性介助などを心がけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 外食や映画など、外にでる機会を提供している。  <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。干し柿、干し大根づくりや手芸作品作り、野菜作りなど、利用者の興味や関心を高める場面作りが出来る。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 作品展に出品し賞をとるなど質の高い作品作りをしており、利用者への働きかけはできている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 家族とともに出かける機会をつくり、墓参りや外泊に対応したり、本人の希望で外食に行ったりしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 日中は玄関に鍵をかけずに暮らしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外に出ようとする利用者が3人いるが、一人ひとりの外出状態(傾向)を把握しており、うまく対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いてい毎日散歩などで馴染み関係ができ、近所の方に見守られ、連携できている。		
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 年に2回の防災訓練を夜間想定で行い、近隣住民との連携を深めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 消火器の点検、水や食料の備蓄ともにできている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 管理栄養士のもと行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 聞き取りにより個々の嗜好を把握しており、グループ分けで焼きそばを作るなど、食がすすむ工夫を取り入れていた。  <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 定期的に管理栄養士の指導やチェックが行われアドバイスもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 利用者の共同作品を飾り、居心地のいい共有空間が作られていた。  <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない 玄関や共有空間の飾りつけは手作りの暖かみのある作品がほとんどで、家庭的な雰囲気を作っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 季節の果物を飾るなど季節感に配慮し、質の高い絵画等の装飾品が飾られていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 一人ひとりの部屋が個性的で、居心地のいい部屋作りがされている。どの部屋にも季節の花が飾られている。  <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。		